

課題管理実施報告書

報告日：2010年3月30日

プログラム	アジア科学技術の戦略的推進:アジア科学技術コミュニティ形成戦略
課題名	アジア統合医療会議—アジアにおける統合医療モデルと科学的解明—
実施日	2010年3月27日(土)～28日(土)
場所	東京大学小柴記念ホール
形式	一般公開・シンポジウム 展示物：無
対象者	一般、その他(政府関係者)
来場者	人数：145名(内訳：一般参加者69名、招待者15名(内政府関係者4名：鈴木寛文部科学副大臣、土田博和参議院議員、他2名)、海外演者14名、日本人演者8名、日本側ディスカッサント14名、プレス11名、スタッフ11名、通訳者3名)
周知方法	メディア取材 プレシリズ HP
実施者	○ 実施取り纏め者を記載 渥美 和彦 一般社団法人 日本統合医療学会 理事長 (東京大学 名誉教授)
内容	<p>○実施内容を具体的に記載</p> <p>【本会議の目的】</p> <p>本会議は、日本とアジア諸国の研究者・行政担当者が一堂に会することにより、各国の参加者による各国の統合医療の現状報告及び問題点、今後の展望について実質的な討論を行い、アジアにおける統合医療の科学的解明に焦点をあて、「アジア発の統合医療モデル」のコンセンサスと構築及び科学的根拠に関する専門家の意見交換と研究者コミュニティの形成を目指した将来展望を検討し、21世紀における世界の新しい医療への橋渡しの役割を果たすことを目的とした。</p> <p>【主な検討テーマ】</p> <p>① 各国における統合医療及び伝統医学、相補・代替医療の社会状況(統合医療の概念や種類、範囲、国民のニーズ、政策、制度、法律、保険上の位置付け、関連産業の状況)の把握と検討を行なった。</p> <p>② 各国における統合医療及び伝統医学、相補・代替医療の学術状況(教育、研究、研究体制の現状)の把握と検討を行なった。</p> <p>③ 各国における統合医療及び伝統医学、相補・代替医療の今後の展望(統合医療モデルの検討)を討論し、アジアから世界に発信する「アジアにおける統合医療モデル」及び「アジアにおける統合医療のグランドデザイン」の検討を行なった。</p> <p>【スケジュール】</p> <p>1日目：オープニング、上記テーマ①②③の事前打ち合わせとディスカッション 2日目：上記テーマ①②③及び「パネルディスカッション」、エンディング</p> <p>◆3月27日(土)第1日目 14:30-17:30</p> <p>議題：会議開催に際して-各国代表の紹介と会議主題の概説- 議長：仁田新一 日本統合医療学会副理事長 東北大学教授</p>

14:30-14:45 主催者あいさつ

仁田新一

日本統合医療学会副理事長 東北大学教授

14:45-15:00 韓国代表

Dr. Choi Seung-hoon, Dean/Professor

College of Oriental Medicine, Kyung Hee University, Seoul, Korea

Dr. Cho Ki-Ho, Professor

College of Oriental Medicine, Kyung Hee University, Seoul, Korea

15:00-15:15 中国代表

Professor Jianping Liu

Director of Centre for Evidence-Based Chinese Medicine,

Professor in Clinical Epidemiology

Beijing University of Chinese Medicine, China

Professor Leung Ping-chung

Director, Institute of Chinese Medicine, The Chinese University of Hong

Kong, China

15:15-15:30 台湾代表

Dr. I-Hsin Lin, Professor

China Medical University

Advisor Doctor, Taichung Hospital Department of Health, Taiwan

15:30-15:45 ヴェトナム代表

Dr. Hoang Dinh Lan

Head of Surgery Department

Head of Department of Science Research, National Hospital of Traditional
Medicine, Vietnam

Dr. Duong Trong Nghia

Head of International Collaborating Center

National Hospital of Traditional Medicine of Vietnam

休憩 15:45-16:15 (30 分)

16:15-16:30 タイ代表

Dr. Narong Nimsakul, Professor

Institute of Modern Medicine, Bangkok, Thailand

16:30-16:45 マレーシア代表

Dr. Saravanan S.R. Sundaramurthy

President, Malaysian Scientific Acupuncture Association

Senior Assistant Director, Traditional and Complementary Medicine Division,
Ministry of Health, Malaysia

Dr. Syed Mohammed Naveed Ul Huda

Lecturer, Faculty of Traditional, Complementary & Alternative Medicine,
Cyberjaya University College of Medical Sciences, Malaysia

16:45-17:00 インド代表

Dr. G. Geetha Krishnan

Senior Consultant, Integrative Medicine, Medanta-The Medicity, Gurgaon,
Haryana, India

17:00-17:15 オーストラリア代表

Dr. Felix Wu Shun Wong, Professor and Director

The University of New South Wales, Sydney, Australia

17:15-17:30 サウジアラビア代表

Dr. Mansour S. Al-Said, Professor and Director

Medicinal, Aromatic, and Poisonous Plants Research Center, College of
Pharmacy, Former Vice President, King Saud University, Riyadh, Saudi Arabia

Dr. Khaled Saeed Aseri

Consultant, Community & Integrative Medicine,
King Abdulaziz Medical City-Jeddah, Saudi Arabia

II) 懇親会 18:30 - 19:30

◆3月28日(日)第2日目 9:00-17:35

I) 開会挨拶 9:00-9:10

渥美和彦 日本統合医療学会理事長・東京大学名誉教授

II) 講演 (I) 9:10-12:35

議題: アジア諸国における統合医療の現状-教育、研究、政策(1)

議長: 仁田新一 日本統合医療学会副理事長 東北大学教授

副議長: 川嶋朗 東京女子医科大学准教授

9:10-9:50 日本代表

渥美和彦

日本統合医療学会理事長 東京大学名誉教授

9:50-10:20 韓国代表

Dr. Choi Seung-hoon, Dean/Professor

Dr. Cho Ki-Ho, Professor

10:20-10:50 中国代表

Dr. Jianping Liu

Dr. Leung Ping-chung

10:50-11:10 台湾代表

Dr. I-Hsin Lin, Professor

11:10-11:40 ヴェトナム代表

Dr. Duong Trong Nghia

11:40-12:00 タイ代表

Dr. Narong Nimsakul, Professor

12:00-12:35 ディスカッション

昼食 12:35-13:35 (60分)

III) 講演 (II) 13:35-15:45

	<p>議題：アジア諸国における統合医療の現状-教育、研究、政策(2)</p> <p>議長: 阿岸鉄三 日本統合医療学会副理事長 東京女子医科大学名誉教授</p> <p>副議長: 蒲原聖可 健康科学大学教授</p> <p>13:35-14:05 サウジアラビア代表</p> <p style="padding-left: 40px;">Dr. Mansour S. Al-Said</p> <p style="padding-left: 40px;">Dr. Khaled Saeed Aseri,</p> <p>14:05-14:40 マレーシア代表</p> <p style="padding-left: 40px;">Dr. Saravanan S.R. Sundaramurthy</p> <p style="padding-left: 40px;">Dr. Syed Mohammed Naveed Ul Huda</p> <p>14:40-15:00 インド代表</p> <p style="padding-left: 40px;">Dr. G. Geetha Krishnan</p> <p>15:00-15:20 オーストラリア代表</p> <p style="padding-left: 40px;">Dr. Felix Wu Shun Wong</p> <p>15:20-15:45 ディスカッション</p> <p>休憩 15:45-16:05 (20 分)</p> <p>IV) シンポジウム 16:05-17:30</p> <p>議題: アジア各国における統合医療の将来展望と課題</p> <p>議長: 渥美和彦 日本統合医療学会理事長 東京大学名誉教授</p> <p>副議長: 大塚晃志郎 ホリスティック医学研究所所長 東京医科大学公衆衛生学講座</p> <p>副議長: 小野直哉 日本統合医療学会評議員 未来工学研究所主任研究員</p> <p>16:05-16:15 日本の統合医療の現状および各国の対応比較</p> <p style="padding-left: 40px;">小野直哉</p> <p>16:15-16:25 日本における統合医療の科学的エビデンスについて</p> <p style="padding-left: 40px;">蒲原聖可</p> <p>16:25-16:30 日本における統合医療プロジェクト; 沖縄プロジェクト構想の紹介</p> <p style="padding-left: 40px;">宮里好一 医療法人タビック 沖縄リハビリテーションセンター病院理事長兼院長</p> <p>16:30-17:30 ディスカッション</p> <p>V) 大会宣言および閉会の辞 17:30-17:35</p> <p style="padding-left: 40px;">渥美和彦</p>
<p>効果、問題点、今後の展望と課題</p>	<p>○ 実施した効果を具体的に記載</p> <p>効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2010 年度時点でのアジア諸国における統合医療と伝統医学、相補・代替医療の現状の集約することが出来た。 ● 伝統医学、相補・代替医療は広くアジア諸国に普及しており、統合医療の実現に向けてアジア諸国が進んで行く事が確認された。 ● 未来の保健制度は統合医療により実現される事が確認された。 ● 国際協力による統合医療の促進を継続する必要性が確認された。「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」を立ち上げるための設立準備委員会を開催することへ、各国からの本会議への参加者から賛同が得られた。 ● 将来的には、「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative

Medicine)」に於いて、アジアの統合医療の研究調査促進のためのデータベースセンター、「アジア統合医療センター(AIMC; Asian Integrative Medical Center)」を設立するためのアジア国際共同連携プロジェクトを立ち上げることに對し、各国からの本会議への参加者から賛同が得られた。

- 21 世紀における世界の新しい医療への橋渡しの役割を果たすための足掛かりが出来た。

○ 実施上の問題点を具体的に記載

問題点

- 本会議への各国からの参加者から賛同が得られた、「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」及び「アジア統合医療センター (AIMC; Asian Integrative Medical Center)」については、財政的な問題で今回は招聘出来なかった他のアジア諸国にも広く呼びかけることが必要であると、日本を含めた参加国全体で共通の認識が得られた。今後はより多くのアジア諸国に呼びかけ、アジア国際共同連携プロジェクトを立ち上げていく必要がある。が、今後どの様に財政的問題を解決するかが問題点である。

○ 今後のコミュニティ形成に向けての展望と課題を具体的に記載

展望

- 本会議の成果は、日本の医療システムにおける統合医療及び伝統医学、相補・代替医療のあり方を議論する際の社会的コンセンサス形成のための議論の基礎的な資料を提供し、アジア諸国と日本の臨床・研究機関が連携した国際医療連携協力プロジェクトへと継続的に発展させていくことを予定している。
- 具体的には、2010 年度を目途に、「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」を立ち上げるための設立準備委員会を開催することを予定している。
- 将来的には、「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」に於いて、アジアの統合医療の研究調査促進のためのデータベースセンター、「アジア統合医療センター (AIMC; Asian Integrative Medical Center)」の設立を検討し、設立へ向けたアジア国際共同連携プロジェクトを立ち上げる。

課題

① 関連科学コミュニティ及び国際機関への提言

- 本会議の成果は、国内外の関連学会での発表などを通じ、日本及びアジア諸国の医療研究機関や臨床現場は勿論、欧米の医療研究機関や臨床現場、WHO 等の国際機関にも普及周知を図っていく。

② 国際医療連携協力プロジェクトへの継続と発展

- 本会議の成果は、我が国の関係省庁(厚生労働省、文部科学省、経済産業省、内閣府)に報告し、今後の医療政策に反映させるとともに、アジア諸国と日本の臨床・研究機関が連携した国際医療連携協力プロジェクトへと継続的に発展させていく。

③ 関連省庁、産業セクターへの提言

- 本会議の成果は、我が国の科学技術政策や医療・福祉政策、産業政策において、統合医療及び伝統医学、相補・代替医療に関わる健康情報の質の向上、統合医療を模索する上での規制や法整備、政策的対応、日本の医療システムにおける統合医療及び伝統医学、相補・代替医療のあり方を議論する際の社会的コンセンサス形成のための議論の基礎的な資料を提供し、我が国の科学技術と産業振興及び国民の保健・医療・福祉の向上に繋がる社会的成果として、行政及び社会へ、貢献できるものとする。今後は各方面に本会議の成果の普及を図っていく。

④財政的課題

- 「アジア統合医療連盟 (AFIM; Asian Federation on Integrative Medicine)」及び「アジア統合医療センター (AIMC; Asian Integrative Medical Center)」については、今後はより多くのアジア諸国に呼びかけ、アジア国際共同連携プロジェクトを立ち上げていく必要があるが、財政的な問題で今回は招聘出来なかった他のアジア諸国にも広く呼びかける際、今後どのように財政的問題を解決するかが課題である。